事務局便り

第１０１号（令和５年２月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

月遅れのご挨拶を致します。

「新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます」

令和５年は兎年の年、あるべき姿の日本に向かって大いに飛躍する年になってもらいたいものです。

本号が令和４年度の最終版です。本年度に亡くなられた会員の方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、諸事情により本年度末に退会される方には永らくのご協力を感謝いたしますと共に、今後のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

本年度は皆様のご協力で、会の運営が円滑に出来ました事を感謝いたします。来年度も引き続きよろしくお願い致します。（加賀本）

案内事項

軍神緒方中佐慰霊碑清掃・慰霊行事

３月上旬（実施日未定）１１：００ごろから、神戸市再度山太龍寺に所在します軍神緒方中佐（陸士５３期）の慰霊碑の清掃・慰霊行事を予定しています。

同中佐は、昭和２０年３月１７日未明神戸市を爆撃のため襲来したＢ２９に体当たり、同寺の近傍に撃墜し、自らも戦死されました。

本行事は、毎年陸上自衛隊八尾駐屯地修親会が主催し近畿偕行会が共催しているものです。

参加費は無料です。行事後、現役自衛官との昼食会（参加自由：会費１５００円程度）を計画したいと思います。

参加ご希望の方は、２月２８日（火）までに事務局長の熊谷までお知らせください。

連絡先：事務局長　熊谷

☎：０７８－９５２－３０６３

０９０－３８４４－３２９６

なお、実施日が決まり次第、参加ご希望の方にはご連絡いたします。

担当　熊谷

高野山昭和殉難者法務死追悼年次法要

４月２９日(金：昭和節)午前１１時から第２７回昭和殉難者法務死追悼年次法要を高野山奥之院の慰霊碑前で執り行いたいと計画しております。

本法要は御導師 高野山真言宗管長総本山金剛峯寺 座主 大僧正長谷川真道猊下、各寺院御導師御出仕を頂き、祭主は近畿偕行会会長 加賀本昭雄並びに昭和殉難者法務死追悼碑を守る会会長 築野富美で共催し、先の大戦で不当な戦争裁判により、尊い犠牲になられたご英霊一千百八十余柱の御霊に哀悼の意を捧げるものです。

多数のご参列をお願い致します。

細部御案内は、４月発刊の次号『事務局便り１０２号』にてさせて頂きます。

担当　加賀本

令和５年度総会開催

５月２０日(土)１０：００から総会を、以下の内容で予定しています。

〇場所は新しく「KKR　HOTEL　OSAKA」に変更し、大阪城が目の前いっぱい、眺めの良い最上階で開催します。JR 森ノ宮駅からシャトルバスがあり、長い階段もなく参加しやすくなります。

〇講演講師：前統合幕僚長　河野克俊氏

演題は未定です。

〇陸上自衛隊中部方面音楽隊の演奏があります。

〇料理はホテル自慢のコース料理です。

すばらしい料理と飲み放題をご堪能下さい。

細部御案内は、４月発刊の次号『事務局便り９６

号』にてさせて頂きます。　　担当　加賀本

２月度・３月度歴史研究会

令和５年２月・３月度の歴史研究会は、以下で予定します。
何方でも参加できます。志のある方をお誘い下さい。
また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。
場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)
大阪駅前第１ビル 11 階南側です。
講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。
参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、４日前までに加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。
担当　加賀本
℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp

２月度

日時：２月１６日(木)　１８～２０時

内容：「習近平独裁３．０　中国地獄が世界を襲う　連鎖恐慌、台湾侵攻、日中衝突…２０２７年までの衝撃シナリオ 」です。
田川顧問に担当して頂きます。
著者は宮崎正弘氏、徳間書店刊です。
中国各地で異例の反共産党・反習近平デモが頻発！「習近平独裁３．０」が内外で引き起こす経済・政治・外交・軍事の大動乱を完全分析！　中国共産党大会で、異例の３期を確定させた習近平。指導部から他派閥を排除し、完全に「習家軍」とよばれる子飼いの側近で固め独裁体制を強化した。
本書では、チャイナウォッチャーの第一人者が、今後５年の中国経済、国際政治の変化や、台湾侵攻スケジュール、さらには国内動乱の可能性について徹底分析した。
とくに最高指導部に改革派、市場重視派が不在となったことで、経済衰退は不可避になり、そのために国内統制がさらに強まり、国内の不満と権力闘争が激化すると指摘している。
また、ウクライナ問題や一帯一路の挫折から国際的孤立を招いている実態から、台湾侵攻のＸデーと実際の占領戦略までを検証する。
習近平の次の５年で、いよいよ爆発するチャイナリスクの実態を明らかにし、中国の行方を予測！
我が国の行く末も考え、大いにディスカッションしましょう。

３月度

日時：３月２３日(木)　１８～２０時

内容：『チャイニーズ・ジャパン』です。
田川顧問に担当して頂きます。
著者は産経新聞論説副委員長佐々木　類氏です。
現役記者が見た「静かなる日本侵略」の最前線！
なぜ日本人はこんなにも中国の脅威に鈍感なのか。
ついに日本は、中国の“自治区”になる！
台湾が「チャイニーズ・タイペイ」と呼ばれたように、日本が世界から「チャイニーズ・ジャパン」と呼ばれる日がやってくる――
中国の日本侵略は「最終章」に入った――
「日本人が人質になる日」は、すぐそこに迫っている！
◎爆買いされる日本の国土 《無策・骨抜きの土地利用規制法》
◎国を売る政治家たち 《保守を自称する自民党「媚中」議員》
◎企業内に民兵組織や共産党組織 《大手日系メーカー・在日中国系企業》等
驚愕の“現地ルポ”満載！
日本を中国に売り渡す、「獅子“親中”の虫」は誰だ！？
中国による「静かなる侵略」は最終章を迎えたのではないか。
残念ながらそう思わざるを得ないのが、日本の現状である。
緻密に計画された浸透工作により、あらゆる面で、日本が赤く染まって

後戻りできないところまで来てしまっている。
だが、まだ間に合う。日本には経済力もあれば知恵も勇気もあるからだ。
この国の行く末を考え大いにディスカッションしましょう。

令和４年度会費納入のお願い

令和４年度会費納入の最後のお願いをします。
本会の「振込取扱票」が同封されている方は、会費未納の方です。
会費は、近畿偕行会を維持し、活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。
苦しい財政状況です。窮状をご理解の上、納入頂けます様、宜しくお願い致します。
不明な点は、下記までご連絡下さい。
会計理事：加賀本　昭雄
℡：072-785-8954　携帯：090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp.
なお、令和５年２月２８日までにお振込の無い場合は、退会の御意志と判断させて頂き、永年に亘りご支援ご協力頂いた方に対し誠に心苦しく、申し訳ありませんが、事後の連絡を中止させて頂きます。　担当　加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。
令和４年度末で、会員数は１１０名を割りこむ予想です。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！
◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！
◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！
ご協力を衷心よりお願い致します。
情報を頂ければ、事務局で対応いたします。
担当　加賀本

報告事項

令和４年度偕行社会長会同

１月１７日（火）令和４年度偕行社会長会同が、グランドヒル市ヶ谷に於いて実施され加賀本が参加しました。
主題は、偕行社の改革の紹介と質疑応答でした。
偕行社の改革（概要）は
１．陸上自衛隊に対する支援を重視する活動への変換
　〇公益財団法人としての目的に沿う事業重視
　　・安全保障等に関する調査・研究・提言
　　・陸上自衛隊に対する必要な協力
　　・英霊の慰霊顕彰等遺族の援護等
２．新たな偕行社の構想
　陸上自衛隊元幹部自衛官の会員に支えられた持久力のある新体制への移行
（１）陸修会（陸上自衛隊退職幹部自衛官の会）との合同：「**陸修偕行社**」設立（令和６年度予定）
（２）偕行社と各地偕行会との関係は、本部と支部の関係へ移行
以下、加賀本の所感を述べます。
まだ今後の検討を要する不明確な部分もあるが、公益財団法人としてあるべき姿にし、少しでも多くの陸上自衛隊退職幹部自衛官により支えられた確固たる基盤のある偕行社（陸修偕行社）にする趣旨であると受け止めた。
「**陸修会**」とは、今後益々厳しさが高まると予想される陸上自衛隊をより一層支援して行く為に、全ての陸上自衛隊幹部退職者が、心を一にして現役幹部自衛官と共にあるとの思いを共有し、それを形にしようと組織された陸上自衛隊

退職幹部自衛官の会である。円満退職した全ての陸上自衛隊退職幹部自衛官を自動的に会員とし、会員有志の寄付金を原資として活動しようとするものであり、令和４年４月２７日に本部（執行部）が編成され、活動中である。
現役幹部時代から偕行社の目的・活動を認識してもらい協力・発展させる狙いと認識した。
今後偕行社との協議を重ね、令和６年度を目途に合同し、「**陸修偕行社**」へと発展させる計画となっている。大いに期待したいものです！
詳しくは陸修会ホームページでご確認下さい。
偕行社と各地偕行会との関係は、本部と支部の関係に移行は、各地偕行会の大半は賛成で、本会も賛成しましたが、今後引き続き検討される事となっています。
担当　加賀

令和４年度第３回理事会

１月２６日（木）１６００から令和４年度第３回理事会を開催しました。
参加者は加賀本会長、田川顧問、西川・小山両理事及び熊谷事務局長の５名でした。
令和５年度の行事等について検討しました。
また、１昨年特攻慰霊祭の際に大阪護国神社にパイプ椅子を５０脚寄進致しましたが、昨年の特攻慰霊祭の折、不足していました折りたたみ椅子を関西水交会と折半で２０脚を追加寄進することにしました。
担当　熊谷

第２回特攻慰霊祭理事会

令和４年１２月３日（土）１５００～１７００大阪護国神社儀式殿にて特攻勇士顕彰会の第２回理事会を開催し、１０月２３日に行った第１４回特攻勇士慰霊祭の実施状況報告、収支決算報告および反省会を実施しました。
参加者は、護国神社から藤江宮司、近畿偕行会から加賀本会長、盛田理事、小山理事および熊谷事務局長、関西防衛を支える会の奥事務局長、日本人の心を伝える会から工藤会長と池田理事およびいつも音響設備を担当していただいている三浦理事の９名でした。
今回の収支決算は、お陰様で前年に引き続き若干の黒字になり、繰越金が１００万円を回復し、今後の明るい目途が見えて来ました。皆様のご支援を感謝いたしますと共に今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。
担当　熊谷

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

伊丹・宝塚・川西・猪名川地区防衛諸団隊新年互礼会

１月１４日（土）伊丹第一ホテルに於いて、伊丹・宝塚・川西・猪名川地区防衛諸団隊新年互礼会
が、４年振りに実施されました。

主催諸団体代表の紹介

自衛官は中部方面総監堀井泰三陸将以下現職高級幹部自衛官、国会議員、府・県会議員、近郊市町長
市議会議員、防衛関係諸団体の関係者等多くの志を同じくする同志が参加しました。
方面総監の力強い挨拶もあり、４年振りとあって久々の再会を喜び合うなごやかな雰囲気の中、国難に立ち向かう自衛隊の心意気を感じ取ると共にこれを支える関係諸団体会員等の覚悟を新たにし

た有意義な会合となりました。
本会からも近隣の正会員・賛助会員が多数参加しました。
担当　加賀本

陸上自衛隊中部方面音楽隊クリスマススペシャルコンサート

１２月２４日（土)、国立京都国際会館に於いて中部方面音楽隊クリスマススペシャルコンサートが行われました。
応募者多数のため２部構成で実施されました。
１５００名の観客は豪快勇壮な演奏に感激大満足のクリスマスイブでした。

担当　加賀本

陸上自衛隊中部方面隊音楽祭り

１月２８日（土）兵庫県立芸術文化センター（西宮市）で陸上自衛隊中部方面隊音楽祭りが３年振りに開催されました。
「前へ to the Future」をテーマとし、勇壮･豪壮･演奏とコミカルパフォーマンスが繰り広げられました　　その中で一番勇壮・豪壮圧倒されるのは

　　やはり太鼓隊（自衛太鼓）でしょうか。
中部方面音楽隊を頭に、第３・第１０・第１３・第１４各音楽隊がそれぞれの持ち味を生かした演奏を披露、自衛太鼓、全音楽隊合同演奏と続きアッという間にフィナーレへ、素晴らしい１時間半でした。

名残惜しいフィナーレ

なお、３回の公演もほぼ満員で、招待枠の年々厳しくなっており、観覧希望者は事前の申し込みをとの事でした。
イベント等の情報、応募方法等は「中部方面隊WEB サイト」をご覧ください。
担当　加賀本

案内

皇紀２６８３年紀元祭

２月１１日(金)１０：３０から橿原神宮（奈良県橿原市）において、勅使をお迎えして皇紀２６８３

年紀元祭が執り行われますが、昨年に続き武漢ウィールス禍（第８波？）のため宮司以下奉仕員、役員、総代及び各代表のみの斎行となりました。本会員諸氏はそれぞれの地に於いて共に我が国の弥栄を祈りましょう。
担当　加賀本

練習艦隊歓迎の夕べ

関西水交会会長から以下の連絡が有りました。
若き海軍士官の前途を祝いに参加し、大いに激励しましょう！
日　時：令和５年３月１４日（火）
　　１８：３０～２０：３０
場　所：ハイアットリージェンシー大阪３階
　　リージェンシーボールルーム
　　大阪市住之江区南港北１－１３－１１
　　電話：０６－６６１２－１２３４（代表）
招待者：練習艦隊司令官ほか主要幹部、ＣＰＯ、
　　実習幹部　約　　名
会　費：　10,000円（当日､受付で徴収致します。）
その他以下の行事が予定されています。
〇入港歓迎行事
　日　時：令和５年３月１４日（火）時間未定
　岸　壁：未定
〇練習艦隊司令官主催艦上レセプション
　日　時：令和５年３月１５日（水）夕刻
　場　所：「」艦上
　練習艦隊歓迎の夕べ参加者への返礼として実施される予定です。
　招待状は、歓迎の夕べ時に手渡されます。
〇出港見送り
　日　時：令和５年３月１７日（金）時間未定
担当　加賀本

和歌山偕行会便り

「核武装論議」　四・五年前に近畿偕行会が富澤暉元陸上幕僚長をお招きして防衛講話が実施され講話後日本の武装の是非について質問したことがあります。富澤陸幕長は、核武装に否定的でしたが、今でもそのお考えに変わりはないかお尋ねしたい欲求にかられます。ウクライナ戦争を観察する限り、「通常兵器での戦争」では、兵員と武器・弾薬の消耗戦になり、継戦能力の有無が勝敗を決します。殊に、エネルギーと食料が自給出来ない我国において、ウクライナの様に10ヶ月にもわたり困難な戦争が継続できるのか極めて疑問です。「専守防衛」と「非核三原則」は、国是の様ですが、専守防衛とは、「国土に敵を引き込んで、国民を巻き込みながら困難な戦争」を強いられることであり、非核三原則は、「米国の核の傘に守られている」ことが前提になっていますが、「守って呉れる確たる保証」等ない話です。昨今の防衛予算論議を聴いていると、先ず、予算額ありきで税金で確保を図るとか、政戦略的には的外れな議論が先行しています。もし、時代遅れのトマホークでも買うのであればお話になりません。更には、来る広島サミットで、岸田総理が「核廃絶を謳い上げる」ようなことがあれば、先進諸国の首脳の笑いものです。但し、核非保有国が核廃絶を叫んでも実現の可能性がゼロだから、先ず核を保有して、核廃絶の先頭に立つと宣言したら、名宰相と見直されるでしょう。それが、固い決意と云うものです。（前和歌山偕行会会長　奥野耕三）

編集後記

今年の冬は１０年振りの大寒波が来襲する等、我々老いた身には寒さがこたえる厳しい冬となっています。大いにご自愛ください。
武漢ウィールス禍対応も、５種への移行が、５月８日になされるようで、悪疫の克服も間近い事でしょう。
春はそこまで来ています。元気を出して、近づく春を待ちましょう！
今年度は、何かとご支援・ご協力頂き本当にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。
（加賀本）

近　畿　偕　行　会

会　長　加賀本 昭雄

編集責任者　熊谷　勉
〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201
Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97
Tel:072-785-8954